

# 第11講 【 蔵象 IV 】 教科書 P.42・43

## 『 脾 』

[ 別称 ] 倉廩の官 『 素問 』; 後天の本、気血生化の源

[ 位置 ] 背の第11椎に付く

[ 特徴 ] 乾燥を好み、湿気を嫌う

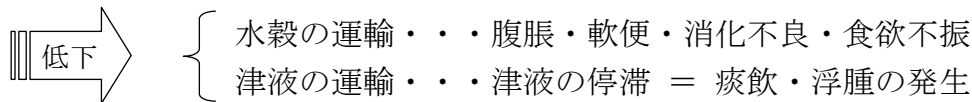
生痰の源：脾の失調により痰が形成されやすいため

### [ 生理機能 ]

: 脾には“運化”“昇清”“統血”の3つの働きがある。また、“昇清”の中には“昇提”という働きが含まれているがこれも大切な働きである。

1. 運化 (を主る) { 運: 運輸・運送  
化: 転化・変化

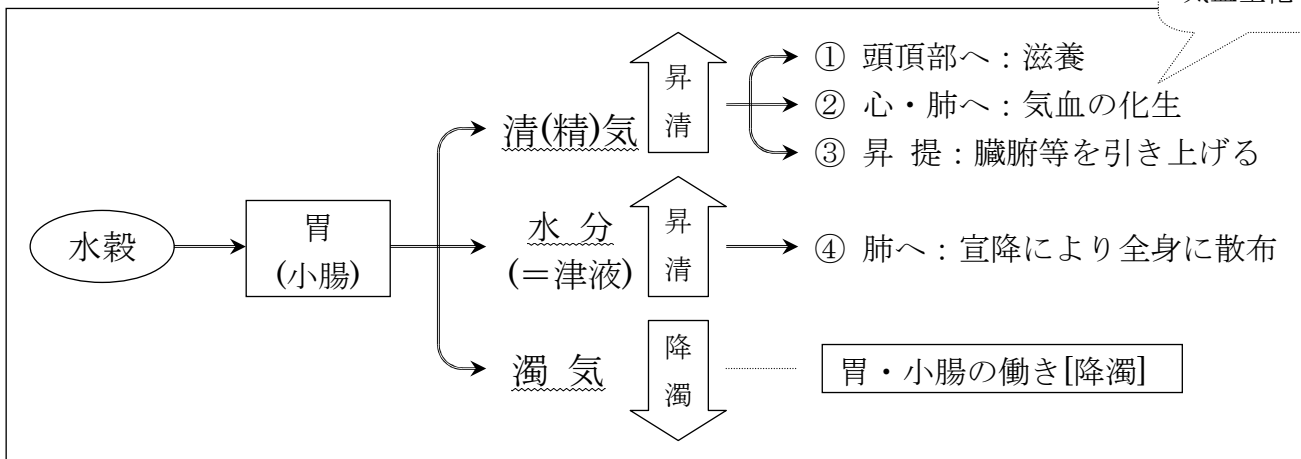
: 脾には 水穀 や 津液 を運輸する働きがある。

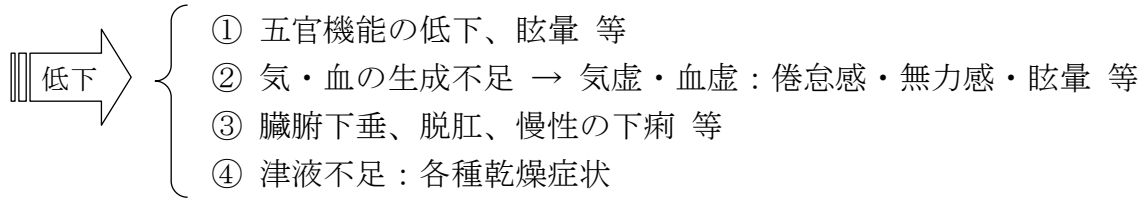


2. 昇清 (を主る)

: 脾には 水穀の精 と 津液 を上へ輸送する働きがある。

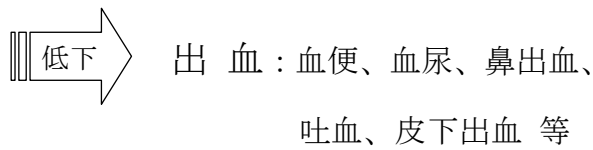
後天の本  
気血生化の源



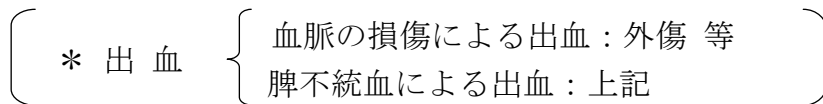
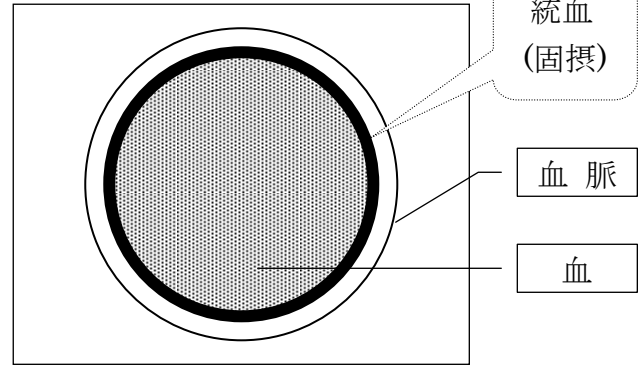


### 3. 統血（を主る）

：脾には血脈を統括し、血が脈外に漏出するのを防ぎ、血の正常な運行を維持している。



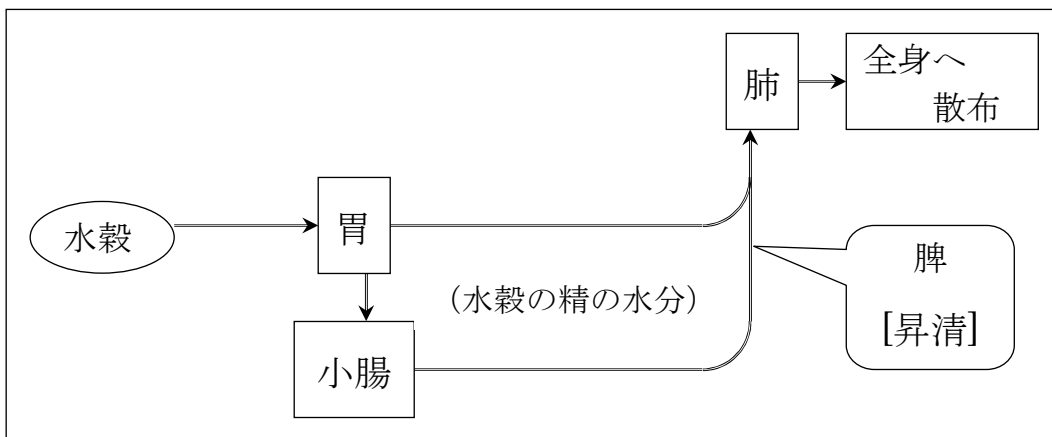
『 統血の模式図・血脈の断面 』



#### その他（国試対策）

- ① 脾は営を蔵す：営気は脈中だけでなく脾にも蔵されている。
- ② 脾は津液を作り出す：津液は脾によって作られる。

『 津液の生成 』



#### [ 系統 ]

主	華	官	液	神	志
肌肉	唇	口	涎	意（・智）	思